

報週濟經際國

行發社合聯聞新

81 (No. 680)

行發日九月二年八和昭

號六第 卷四十第

(可認物便郵種三日九月十年九正大) 行發日曜木回一週每

本號索引

(事項略)

關稅引上法案否決 ガナー氏の言明 官廳用品は國産品を購入せよ 外國ゴム靴關稅引上げ 鮭鱈の關稅引上反對 英米戰債豫備會議 關稅引下及び通貨安定策 ルーズヴェルト氏自 ら戰債交渉に當らん ムーデー通信の物價指數 ブリッグス社一部採業開始 ユ・エス・スチール ル社株優先株大減配 同社株桑港で激落 十二月中の對支 商品別輸出高 同 地方別輸出高 二月一日現在卸賣物價指數 十二月中の自動車生産高 一月下旬電力生産高 同 鐵道貨物輸送貨車數 ドイツ政變とウォール街 一月末株式空賣玉 一月中の株式債券出來高 トーマス氏インフレ主張 一月中の手形交換高 ニユーヨーク銀塊相場急騰 十二月中の精銅輸出高 同 對日鐵類輸出高 日本生糸輸入阻止困難 日本人絹の進出 絹業減産説 十二月中の廣幅絹布賣行 生糸の領域に人絹蠶食 一月中の生糸需給統計 エヴァレット號救助さる 鐵鋼界近況 四ヶ國鐵鋼カルテル 聯盟理事會で英波石 油紛争解決案を承認 甜菜糖豫想 十二月迄の砂糖消費高 イングラント銀行金買入 一月末金物在庫高 原棉落潮と紡績手當 紡績年報發表 英波石油紛争解決案 ボルチック備船契約 金蓄積政策聲明 ダラデー内閣顔觸 月次豫算可決 船舶海上保險交渉	ヒトラーの經濟政策 同内閣の公債に關する聲明 同内閣議員顔觸 ドイツ再建四ヶ年計畫 昨年の國際收支 一月末卸賣物價指數 一月中の生活費指數 中央執行委員會決議 播種面積發表 サガレン號見航さる オランダ紡織業不安 イタリー戰債交渉受諾 デンマーククローネ安定協定 フィンランド中央銀行利下げ ルーマニア油田地方へ戒嚴令 インドボンベイ綿糸布市況 工場閉鎖に決す マレー一月中のゴム輸出入額 小麥植付反別 ジャワ砂糖輸出額戻引上げ 一月末までの砂糖賣約高 南京政府世界經濟會議の議題を研究 日支關稅協定更改反對 廣東の排日計畫 昨年中の支那輸出入額 廢兩改元延期 米輸出禁止勵行 出洲大使ニユーヨークで 滿洲國の經濟的意義強調 奉天滿鐵の日滿通商條約希望事項 アメリカへ人絹進出 本邦對外資産勘定 外貨證券及外國證券所有高 昭和元年度以降歲出入比較 十二月中の卸賣物價指數 對米爲替換算貿易額 一月下旬貿易概算 同 綿糸輸出高 一月末阪神棉花在庫 一月下旬棉花輸入高 一月末綿糸在庫高 一月中の對外貿易額 マクドナルド氏經濟會議々長就任受諾 一月中の錫需給統計 國際鉅額カルテル解散 十二月中の米棉消費高 二月初棉花綿糸布相場比較 昨年度ゴム需給高 ロイド進水船統計
--	--

(本號所揭電報) 昭和八年一月廿九日—二月四日發信

資本金 壹億圓
諸積立金 參千六百八拾五萬圓

東京市麹町區丸の内貳丁目五番地

株式三井銀行

支店 永代橋、丸之内、丸之内第二、日本橋、四谷、駒込、日本橋通町、神田、品川、大森、大阪中之島、船場、西長堀、神戸、三宮、京都、名古屋、小樽、上海、倫敦、紐育

外國業務 輸出入爲替買賣 電信及普通送金 旅行、商業信用狀

內國業務 諸預金、諸貸出金 送金爲替、諸取立 保護預、代理事務

東京市日本橋區駿河町壹番地

株式三井銀行

電話日本橋代表(26) 二二三

創立 明治十一年

大阪市東區高麗橋

株式三十四銀行

資本金 五千貳百貳拾萬圓

大阪市東區今橋三丁目二一

株式鴻池銀行

電話本局 自一〇〇六番

資本金 壹億五千萬圓
積立金 六千萬圓

東京市麹町區大手町一丁目六番地

株式安田銀行

支店 全國百三十五個所

資本金(拂込済) 五千七百五十萬圓
法定準備金 五千七百五十萬圓
別途準備金 四百拾萬圓

東京市麹町區丸の内一丁目一番地

株式第一銀行

支店 東京、横濱、豊橋、名古屋、四日市、京都、大阪、神戸、廣島、下關、門司、小倉、福岡、久留米、熊本、函館、小樽、札幌、宇都宮、足利、栃木、佐野、桐生、館林、京城、釜山

中小工業資金低利融通
各種財團擔保長期工業金融
普通銀行業務・地方債社債引受

東京市東區區區九丁目一
日本橋支店 同日本橋區通二丁目
大阪支店 同日本橋區高麗橋
神戸支店 同日本橋區高麗橋
名古屋支店 同日本橋區高麗橋
福岡支店 同日本橋區高麗橋

株式日本興業銀行

資本金 五千萬圓

大阪市東區堺筋瓦町角

株式山口銀行

社長 山口吉郎兵衛

A17

世界經濟展望

英米戰債

商議準備交渉
 國債協定改訂の
 商議は三月下旬
 一、ズヴェルト氏が
 大統領就任後早々
 開始される予定であるが、これに
 先立ちルーズヴェルト氏は本國へ
 歸還せんとする駐米イギリス大使
 リンゼイ氏を招き一月廿九日ウオ
 ームズプリングスの別荘で會談し
 た。會談の結果については漠然と
 した聲明を發表しただけで、實質
 的に言明することを回避した。し
 かしこの會談後ルーズヴェルト氏
 は本格的な交渉に對する肚を固め
 るに至つた。即ち氏は自ら交渉の



ヒトラーの經濟政策

政權の入口まで行つては何時も
 後戻りしてゐたアドルフ・ヒトラー
 が今度の政變で遂にドイツの政
 權を握つた。一切の政策は副總理
 たるパーペンの同意を要するとい
 へ、今後のドイツは漸次ヒトラー
 の意圖する國家社會主義的轉向
 を行ふ機會を得たといへやう。ヒ
 トラー黨たるナチス(國粹社會黨)
 の政策とは一體如何なるものか。
 ヒトラーの發表した施政方針に
 は次の三項が含まれてゐる。

- 一、全世界と修好。
 - 一、憲法遵守、獨裁許容條項の適
用を回避。
 - 一、共産黨の彈壓を行はず。
- これでは何等獨自の政策も具體
 的の方針もない。しかしナチスが
 ユダヤ人排斥や國家社會主義を無
 暗に強調する點に、具體的な政策
 を示したことがないといふのは定
 説となつてゐる。

アンハルトの經驗

引上案が山積してゐるが、しかし
 今議會においてモノになるものな
 く殆ど全部流産に了るらしい。次
 期副大統領たるべき下院議長ガー
 ナー氏がこの點を言明してゐるの
 みならず、二月四日の下院議入分
 科委員會は代表的の二案を否決し
 てしまつた。

和蘭綿業不安

蘭領東インド市場における日本
 綿製品の進出著しく、今やオラン
 ダ本國製品を駆逐し盡さんばかり
 の勢である。これがためオランダ
 綿業界は火の消えたやうな有様と
 なり、紡績業労働者は失業續出と
 労働時間減縮のためストライキを
 計畫するに至つた。一方會社側は
 工場閉鎖を断行せんとし、雲行き
 不穩である。

米國關稅引上法案

アメリカは現在ゴム靴類に對し
 外國價格に基く二割五分乃至三割
 五分の從價關稅を課してゐるが三
 月一日からアメリカにおける賣價
 に基いて課稅することになつた。
 この外アメリカ議會には目下關稅

公債に關する聲明

ヒトラー新内閣は政府公債の下
 落に鑑み市場の不安を一掃する目
 的を以て一月卅一日の公式聲明
 を發した。而してこの中で新政府
 は急激な經濟政策を實施しよう
 するものにあらざる所以を明言し
 てゐる。その聲明に曰く――

内閣顔觸

- 首相 アドルフ・ヒトラー氏
- 副總理 フォン・パーペン氏
- 外相 フォン・ノイラート男
- 國防相 フォン・
- 逓相 フォン・
- ルベナツハ男
- 工部相 ゲールテ氏
- 労働相 ゼートト將軍
- 經濟農相 フーゲンベルグ氏
- 無任所相 ゲーリング氏
- 藏相 フォン・クロジック伯
- なほ副總理になつた前々首相パ
ーペン氏は同時にプロイセン州統
監に任命された。

ドイツ再建四ヶ年計畫

ベルリン二月一日(水)
 聯邦新宰相アドルフ・ヒトラー
 氏が政權獲得の今日如何なる政策
 を強行せんとしてゐるか内外注
 目を惹きつけてゐるが新内閣の信
 念を國民の總意に問ふべく國會解
 散を断行した一夜ヒトラー氏は
 ドイツ全土に對して放送演説を試
 みドイツ再建四ヶ年計畫を發表し
 た。演説要旨は左のごとくである
 『ドイツを渾沌より救はんがため
 四ヶ年計畫こそ我が内閣が遂行
 せんと思ふべき最大限目である
 余は來るべき四ヶ年において
 ドイツ農民をその窮狀より救
 ひ、且つ失業を決定的に克服し
 なければならぬと思惟する。』
 『ヒンデンブルグ大統領は我々に
 對して國民にドイツ復活の可能
 性を與ふべきことを命じた。故
 に我々は全ドイツ國民に對しこ

月 一	日 曜 日
月 二	日 曜 土

海外

- 【米】 一月廿九日(日) 駐米イギリス大使リンゼイ氏はルーズヴェルト氏と戰債會商に關する豫備的會談を遂げ、歸國の途についた。
- 【佛】 ルブラン大統領はダラディエ氏に組閣を委嘱した。
- 【佛】 一月三十日(月) 社會黨議員大會は條件附で入閣を受諾するに決定。
- 【英】 ヒトラー氏右入閣條件を拒否
- 【日】 ヒトラー氏聯邦宰相に就任
- 【日】 パーペン氏はプロシア州統監並に新内閣副總理に任命さる。
- 【日】 ヒトラー氏施政方針を聲明。
- 【日】 社會民主黨大會は國會再開と共に入閣不信の動議提出を決議
- 【日】 ユーレネフ氏駐日大使に任命さる。
- 【日】 南京政府米の禁輸を嚴命。
- 【日】 一月卅一日(火) 新内閣は全部急進社會黨員
- 【日】 議會は二分算算を可決した。
- 【日】 新内閣は國債所有者の不安を除く爲め公式聲明を發した。
- 【日】 米伊戰債改訂交渉を受諾。
- 【日】 上海市商會日支關稅協定反對運動を開始。
- 【日】 二月一日(水) ルーズヴェルト氏は上院議員ハル氏と議談の結果、就任後着手すべき關稅障壁低下及び通貨安定策を決定した。
- 【日】 ヒトラー氏組閣を完了。
- 【日】 國會解散。總選舉は三月五日。
- 【日】 ヒトラー氏は四ヶ年計畫を發表
- 【日】 國內經濟に關する政府四ヶ年計畫の根幹の一は強制労働勤務と地方人口の増加政策である。對外交政策に關する政府の使命はドイツ國民の絕對的權利を擁護しその自由を回復するにある。更に若し世界が軍備縮小によつてドイツの軍備擴張を永久に不必要ならしめるならばドイツは非常なこれを多とするであらう。
- 【日】 上院は政府各官廳の購入品を國產品に限定すべしとする新輸入制限法案を可決した。
- 【日】 三月三日(金) 十九ヶ國委員會開會
- 【日】 委員會は日本案を拒否し十二月十五日の十九ヶ國委員會決議說明書に對し(一)ソ聯及び米國の

ジュネーヴ

- 【日】 理事會の英波石油問題報告者ベネシュ氏は兩國代表と折衝、妥協案を達成した。
- 【日】 事務局より滿洲國秩序回復に關する日本代表部の通牒發表さる。
- 【日】 支那代表部は事務局に對し日本軍の熱河出動を通告した。
- 【日】 我が代表部に回訓到著。
- 【日】 直ちに首腦部會議を開き回訓に基き對聯盟方針を決定した。
- 【日】 松平大使はサイモン氏と折衝の爲め歸英。
- 【日】 起草委員會は報告書草案第三章までの起草を完了した。
- 【日】 支那代表部はイマンス氏に對し再び報告期間の確定を要求。
- 【日】 聯盟婦人兒童賣買調査委員會は理事會に報告書提出した。
- 【日】 我が代表部首腦部會議は訓令に基き日本案の起草を完了
- 【日】 松岡代表はドラモンド、エデン兩氏と會見、第三項による和協手續の餘地ある旨力説した。
- 【日】 松岡代表は日本案をドラモンド事務總長に提出した。
- 【日】 軍縮會議一般委員會開會。
- 【日】 英波石油爭議協定成立に關しコムミュニケ發表さる。
- 【日】 軍縮一般委員會に於てエデン英代表は新軍縮案を提出。
- 【日】 理事會は英波石油紛争に關する暫定協定案を承認した。
- 【日】 十九ヶ國委員會開會
- 【日】 委員會は日本案を拒否し十二月十五日の十九ヶ國委員會決議說明書に對し(一)ソ聯及び米國の

内地

- 【日】 聯盟代表部の請訓に接し外相は閣議に諮り最後の態度を決定、直ちに委曲上奏した。
- 【日】 衆議院豫算總會は昭和七年度追加豫算案を満場一致で可決した。
- 【日】 内閣外相は對聯盟策に關し西園寺公の諒解を求めた。
- 【日】 衆議院本會議追加豫算案を可決
- 【日】 閣議は對聯盟根本方針を決定、外相は委曲上奏の上代表部宛最後の回訓を發した。
- 【日】 内閣外相は英大使リンドレー氏に對し回訓内容を内示し、曩に英政府より提起ありたる妥協案を拒絕する旨回答した。
- 【日】 追加豫算案は昭和七年度追加豫算案を可決した。
- 【日】 大藏省は八年度新規公債發行豫定額を九億八千七百萬圓と發表
- 【日】 貴族院本會議追加豫算案を可決。同案は成立を見た。
- 【日】 民政黨は農桑保險法案、政友會は原々蠶種國營案をそれぞれ議會議に提出するに決定。
- 【日】 大藏省が衆議院に發表した歳出豫算使途別表によれば軍事費は歳出の三割六分五厘。
- 【日】 農林、大藏兩省折衝の結果、米穀需給資金は七億圓に擴張。
- 【日】 首相は豫算總會に於て時局巨救豫算三ヶ年繼續に關し辯明した
- 【日】 大藏省發表、昭和八年度豫算中の外國拂金額内譯表によれば基本豫算額一億三千萬圓餘を著差増九千萬圓餘である。
- 【日】 閣議は私鐵買収法案を審議。
- 【日】 閣議に提出することとなつた。
- 【日】 衆議院豫算第三分科會に於て大藏當局は金輪再禁後本年一月廿八日までの金現送額は七千九百八十九萬圓であると發表。

ツイド 昨年の國際收支

受取超過三億マルク

一九三二年はドイツにとつて政治的動搖の激しかった年であると共に、財政的にも非常時の一年であつた。ドイツ景氣研究所は一月四日の週報において一九三二年の國際收支見積を發表した。この財政的窮迫の甚だしかった昨年において、ドイツの對外勘定はどうか。

對外債務激減

丁度一年前、ドイツは遂に『賠償金は拂へぬ』と悲鳴を上げた。これは一昨年度の國際收支の帳尻を見れば誰でもうなづけやう。而して問題の賠償金も昨年七月九日のローザンヌ協定により結局總額三十億マルクを十五ヶ年賦で支拂へばよいことになつた。これをヤング案による支拂總額千億マルクに比較すれば、ざつと四分の一であり、年賦額も僅か二億マルクに過ぎぬからドイツの負擔は著しく軽減された。

出超激減

しかしながら一九三二年にはこの調子を持続することは出来ず結局十一億マルクの出超に終つた。勿論世界的不況による一般貿易萎縮のためと、各國の關稅増徴引上げの結果である。この外に今一つ大きな理由は主要競争國たる日英を初め其他多數の國々が爲替を下落せしめたるに反し、ドイツは依然として金本位と平價を維持せねばならぬ苦しい立場にあることである。

	1930年			1931年			1932年(見積)		
	受取	支拂	差引	受取	支拂	差引	受取	支拂	差引
輸入	122	106	16	97	69	28	57	49	8
輸出	104	147	-43	73	16	57	2	10	-8
差引	18	-41	-23	24	53	-29	55	-1	-16
貿易差引	18	-41	-23	24	53	-29	55	-1	-16
金融差引	1	1	0	1	1	0	1	1	0
總差引	19	-40	-21	25	54	-29	56	0	-16

(ドイツ景氣研究所調査、單位億マルク)

フランスの金蓄積政策辯明

フランスとアメリカとは世界の金の六割を所有し、特にフランスの近年における甚しき金蓄積は各方面の論議的となつてゐる。最近はやや減つたが、昨年十二月におけるフランス銀行の金準備は一時八百三十三億五千万フラン(四億一千九百三十三萬圓)に増加した。しかし實際の保有高は二百八十億しか増加してゐない。何故ならフランス銀行は一九二八年當時二百六十億フランの資金を外國に置いてゐたからである。而してこれ等の在外勘定はフランス安定法の定めるところにより金に換へることとなつたのであるが、これはフランスが金爲替本位のごときを排して直接金本

金の集積理由

『成程フラン安定時代から今日まで僅々四年半の間にフランスの金準備は五百四十億フラン(四十三億圓)を増加した。しかし實際の保有高は二百八十億しか増加してゐない。何故ならフランス銀行は一九二八年當時二百六十億フランの資金を外國に置いてゐたからである。而してこれ等の在外勘定はフランス安定法の定めるところにより金に換へることとなつたのであるが、これはフランスが金爲替本位のごときを排して直接金本

位制に復歸せんと意圖したからである。次にフランス銀行がロンドン市場から漸次金を引出し始めたのはイギリスが金本位を停止した場合にはフランスの蒙るべき莫大な損失を慮つてのことである。又昨春及び一昨年秋におけるアメリカからの金引揚げも非常に非難せられたが、しかしフランス銀行としてはフランス人個人が、その在外勘定を取り寄せるのに容喙することは出来ない。一方フランス銀行自身の資金引揚げも行はれたがこれはアメリカの聯邦準備銀行との間に出来た協定に基くものである。

實物賠償と資金還流

一九二八年六月以來フランスの受入れた賠償金は三億四千萬ドルに達したが、一方においてアメリカ及びイギリスに對して三億八百万ドルの戦費を支拂つてゐる。故に現下でフランスの懐に入つたのは差引僅に三千二百萬ドル、それにヤング公債賣却による三千五百萬ドルがあつたのみである。一方實物賠償三億七千九百萬ドルの受入れがフランスの輸入支拂を相殺し、爲替を強化したことは事實であつたが、しかしこれ等の實物賠償があつたからと言つてこれがためにフランスの在外資金が殖へたわけではない。過去二三年に亘り貿易勘定は逆調を示し、剩さへり収入の減退と外國遊客の減少等のためにフランスの國際收支は資本の流入を除いては甚しく支拂超過となつて居り、従つてフランスの金保有高は減つてゐるわけである。だから一九二八年六月以來フランスに這入つて来た前記二百八十億の金は主として外國人及びフランス人の資金が流入乃至還流したものとも見るべきである。余の見積りによると現在フランスにある外國短資は約二百億フランに達してゐるが、しかしフランス銀行はその割引率を引上げて、これ等資金の引き寄せを策したことは替本位のごときを排して直接金本

金備在の責はとらず

レイノール氏の結語はかうである『若しもフランスがその有する在外短資を長期投資に換へんとするにあらば、かくも急激に短資を引揚げ、従つて金準備の増加をみるごときとはなかつたであらう。しかしさうすればフランス人は莫大な損失を蒙り、延いて彼等は他國に如何なる影響を及ぼさうと自己の目先の安全のみを計るやうな政策を迫らざるを得ないのである。』

急進社會黨 内閣顔觸

急進社會黨は二月三十日成立した。その原因ではない。』

- 首相兼陸相 エドアルド・ダラディエ氏
- 外相 ジョルジュ・ボンネ氏
- 内相 カミーユ・ショータン氏
- 法相兼副總理 ユージン・ベナンシエ氏
- 労働相 フランソワ・アルノー氏
- 工部相 ジョセフ・パガノン氏
- 海相 ジョルジュ・レグ氏
- 農相 ユージエヌ・フロアール氏
- 植相 アルベール・サロー氏
- 恩給相 エドモン・ミエリ氏
- 保健相 シャルル・ダニエル氏
- 逓相 ローラン・エーナック氏
- 農相 アンリー・クイユ氏

國際經濟日誌

一月二十九日 日曜
二月四日 土曜

海外

【一月廿九日(日)】アメリカ次期大統領ルーズヴェルト氏は駐米イギリス大使リンゼイ氏と戰債商議に關する下交渉を行つた。タコマ東洋汽船會社所有エダレット號は救助を受け遭難現場よりシヤトルへ向け歸航。
【一月三十日(月)】アメリカ上院議員トーマス氏は公債を増發して通貨膨脹を實現せしむべしとの案を議會に提出した。
【二月一日(火)】イギリス首相ダラディエ氏は日本生糸の輸入に關しては至難だと述べた。
【二月二日(水)】イギリス首相ダラディエ氏は世界經濟會議の間にクロネ貨安定を條件にストライキ又はロックアウトを禁ずる協定が成立す。
【二月三日(木)】イギリス首相ダラディエ氏は世界經濟會議々長就任を受諾した。
【二月四日(金)】アメリカ下院議院長ガナー氏は今議會において關稅引上げが制定されることあるまいと言明した。
【二月五日(土)】イギリス紡績聯合會年報發表、同國綿業の回復を述べた。
【二月六日(日)】國際聯盟理事會で英波石油紛争事件に關する暫定協定案を承認す。
【二月七日(月)】アメリカ下院歳入分科委員會は關稅引上げに關するヒルズ氏並にホーレイ氏提出の法案を否決す。

内地

【一月三十日(月)】銑鋼比率協定問題に關し製鋼原料共同購買會と銑鋼共販會社との意見一致をみた。
【二月一日(水)】米穀證券額面六千二百萬圓借替發行。
【二月二日(木)】興銀の外債償還に伴ふ爲替差損中三百萬圓を政府補給に決定。
【二月三日(金)】東京米商取引所の人絹清算取引は廢々初立會を行つた。
【二月四日(土)】政府は關稅附加稅撤廢を見合せ、その他の關稅改正のみを議會へ提案する模様。
【二月五日(日)】大藏省發表によると昨年七月一日現在の本邦人所有外貨證券、外貨預金及び貸付金は十六億七千萬圓に達してゐると。
【二月六日(月)】政府は對米輸出統制方策を研究。
【二月七日(火)】東折社債一千萬圓發行に決す。利率年六分、二月七日賣出。
【二月八日(水)】東京灣口富津沖で坐洲したタイシヤン號は漸く離洲に成功す。
【二月九日(木)】貨幣法中改正法律案議會に提出さる。現行白銅貨幣に代へニッケル補助貨幣の鑄造及び量目表示をメートル法に改めんとするものである。
【二月十日(金)】タイシヤン號は再荷役を了しシヤンフランスコへ向け横濱港を出帆した。

【一月廿九日(日)】アメリカ次期大統領ルーズヴェルト氏は駐米イギリス大使リンゼイ氏と戰債商議に關する下交渉を行つた。タコマ東洋汽船會社所有エダレット號は救助を受け遭難現場よりシヤトルへ向け歸航。
【一月三十日(月)】アメリカ上院議員トーマス氏は公債を増發して通貨膨脹を實現せしむべしとの案を議會に提出した。
【二月一日(火)】イギリス首相ダラディエ氏は日本生糸の輸入に關しては至難だと述べた。
【二月二日(水)】イギリス首相ダラディエ氏は世界經濟會議の間にクロネ貨安定を條件にストライキ又はロックアウトを禁ずる協定が成立す。
【二月三日(木)】イギリス首相ダラディエ氏は世界經濟會議々長就任を受諾した。
【二月四日(金)】アメリカ下院議院長ガナー氏は今議會において關稅引上げが制定されることあるまいと言明した。
【二月五日(土)】イギリス紡績聯合會年報發表、同國綿業の回復を述べた。
【二月六日(日)】國際聯盟理事會で英波石油紛争事件に關する暫定協定案を承認す。
【二月七日(月)】アメリカ下院歳入分科委員會は關稅引上げに關するヒルズ氏並にホーレイ氏提出の法案を否決す。

重要商品

日別相場指数

通信

アメリカ重要商品の動きは次の二つの意味において世界経済に重要な影響を持つてゐる。

一、アメリカが世界屈指の農業工業國で、その生産品が世界市場

アメリカ重要商品相場指数

(ムーディ通信発表)

Table with 2 columns: Date (一月廿一日, 二月一日, etc.) and Index Value (七九.三, 七九.四, etc.)

一、アメリカは依然たる金本位維持國にして、その物價は純然た

ムーデー物價指數の根據

Table with 4 columns: Item (Wheat, Cotton, Hogs, etc.), Weight, Market, and Source (Chicago Board of Trade, etc.)

當社でもこれを日々打電せしめることとしたが、この機会にその内容算出法等を紹介すると次のごとくである。

十五商品とウエイト

この指數算出の基礎となるのは小麦、棉花、豚、スクラップ・スチール、砂糖、羊毛、銅、皮革、

ブリッ格斯社 一部操業開始

ユー・エス・スチール會社 優先株大減配

中央執行 委員會決議

ユー・エス・スチール會社の感で迎へられてゐる。同社は本年第四期(十、十一、十二月)は昨年第四期(十、十一、十二月)の優先株(一株百ドル)配當を五

中央執行委員會決議 以上諸決議を可決。更に中央執行委員會書記エヌキツ氏の報告に基き一九三二年第三次會議開會までの期間中に聯邦政府の採擇せる諸決議を確認した。

Table: ユー・エス・スチール會社業績 (Unit: 千ドル) with columns for Year, Operating Income, Net Income, etc.

八分三厘に過ぎなかつた。重役會終了後重役會長マイロン・テイラー氏に對し賃銀引下げを行ふや否やにつき訊したところ、目下のごとくである。

一九三三年度國家經濟計畫を採擇した。而して右詳細は左の如くである。一九三三年度國家預算案歳入三百五十億ループル及び歳出三百三十億ループルを可決。

カリメア 對支輸出高

十二月中の

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

十一月一日(火)

地方別輸出高

アメリカ商務省発表、昨年十二月中のアメリカ對支地方別輸出額は左の通りである。(單位千ドル)

支那輸出額

支那輸出額 昨年同期比 前年同月比

卸賣物價指數

卸賣物價指數 昨年同期比 前年同月比

卸賣物價指數

卸賣物價指數 昨年同期比 前年同月比

生活費指數

生活費指數 昨年同期比 前年同月比

自動車製産高

自動車製産高 昨年同期比 前年同月比

アメリカ 電力生産高

アメリカ全國電燈協會 (National Electric Light Association) 發表、一月廿八日(土)に終る一週間のアメリカ電力生産高は十四億七千萬キロワット時であつた。これを過去の数字と比較すれば左の通りである。

Table with 2 columns: Year (Year to end of week), Production (Production in kilowatt-hours). Data for 1933, 1932, 1931, 1930.

アメリカ 鐵道貨物 輸送貨車數

アメリカ鐵道協會發表、一月二十八日を以て終る一週間のアメリカ

カ鐵道貨物輸送貨車數は四十七萬二千車であつた。過去の比較は左の通りである。

Table with 2 columns: Year (Year to end of week), Number of cars (Number of cars). Data for 1933, 1932, 1931, 1930.

トーマス氏 インフレ主張

ワシントン一月三十日(月) 三十日夜アメリカ上院議員にして錚々たるインフレ論者トーマス氏は三十日午後の公債を發行してこれを見返りとして通貨を増發し、以てアメリカの通貨膨脹を實現せしむべしとの案を議會に提出した。トーマス氏が氏の案の賛成者達に語つたところによると次期大統領ルーズヴェルト氏も「適度のインフレ」に賛意を表してゐると、トーマス氏の目ざすところはドルの購買力を或る程度まで引下げこの點まで物價を昂騰せしめんとするものである。なほ右三十年満期の公債は年利二分で聯邦準備銀行に引受けしめ、これを擔保として準銀に聯邦準備券を發行せしめんとするものである。而してこれを流通せしめる手段としては右通貨を以て聯邦の官公吏並に公共事

業従業員その他政府の支出一切の支拂に充當せしめんとするものである。

了アメリカ一月中の 手形交換高

Table with 2 columns: Year (Year to end of month), Exchange volume (Exchange volume in millions of dollars). Data for 1933, 1932, 1931, 1930.

南京政府の 廢兩改元延期

上海二月四日(土) (大阪市産業部入報) 昨年の銀元相場下落を機縁に當り、廢兩改元問題は政府の出動によつて今にも實施されるかのごとく宣傳されたが、錢莊側の猛烈な反對と銀元相場の回復のため有耶無耶のうちに放置されてゐる。先般右問題に關して財政部長宋子文氏が來滬し銀行、錢莊業者と會見してこれが解決方を希望したと見られ、銀行側は賛成し錢莊側は準備期間、新貨純分等につき考慮され

の態度を示すべしと傳へられること。加ふるにゼネラル・モーターズやアメリカ電話電信等有力會社の配當がどうなるか判らないといふ不安もあり、市場の目先の情勢は依然陰鬱である。

金融市場は月末資金需要にも何等影響を及ぼさず、半パーセントの安唱へである。

外國爲替市場にあつてはカナダ・ドルが思惑の對象となり相場は大幅の浮動をみせた。

債券市場は概して冴えなかつた。

空賣玉増加

ニューヨーク株式取引所發表、一月三十日現在における同取引所空賣玉は合計百八十四萬五千株であつた。一月三日に比し四萬八千株の増加である。

爲替 爲替市況

ロンドン 二月二日(木) ポンドはイギリス政府の爲替統制によつて頗る堅りを呈したが、カナダのドルは大幅の浮動をみせた。これはカナダ・ドルの相場がポンドと連繫するべしとの噂が立つたためである。支那爲替は閑散ながら手堅く、日本爲替は稍や引地みとなつた。

クローネ 安定を條件に 罷業禁止

コペンハーゲン 一月三十日(月) 今回デンマーク政府と有力反對黨との間にクローネ貨を英貨一ポ

ンドに付二十二クローネ半に安定することを條件に向ふ一年間スライキ若くはロックアウトをやらないといふ協定が成立した。この協定は豫て僱主組合が聲明してゐる二月一日からのロックアウトが撤回されると同時に法律により一方共産黨はこの協定に反對し騒ぎ出し、出動した警官隊や議員に對して催涙彈を投げ數名の負傷者を出した。

銀塊 銀塊市況

ロンドン 二月一日(水) 今週のロンドン銀塊市況に關しサミュエル・モンタギュー商會は左のごとく報じてゐる。

銀塊相場急騰

本日(二月二日)の銀塊相場はロンドンの八分の一ペンス高にニューヨーク現物の八分の一ペンス高を移して頗る活況を呈し相場は四十乃至五十二ポイント方急騰した。取引出來高は百三十二萬五千オンス。

本日相場急騰の原因はイギリスの元銀相サー・ロバート・ホーン氏が「金貨に對する補助貨として銀を一層盛んに使用するれば世界經濟界の安定に資するところ多大であらう」と聲明したのによるものと信ぜられる。

イギリス 金銀塊輸出入額

Table with 2 columns: Year (Year to end of month), Amount (Amount in thousands of pounds). Data for 1933, 1932, 1931, 1930.

中央銀行利下

フィンランド 一月廿一日(火) フィンランド銀行は廿一日公定割引歩合を六分半より六分に引下げた。因に同行は昨年四月十九日七分より六分半に引下げて今日に至つたものである。

フィンランド 銀行金買入

ロンドン 一月廿一日(火) イングランド銀行は本日又復二百七十九萬二千ポンドの金買入を行った。

正貨積出高

ロンドン 二月三日(金) △汽船Rampart號積 1,700ポンド バタヴィアへ銀貨 1,000,000 上海へ 同 300,000

ロンドン 株式市況

今週の株式市場では買氣は終始殆ど南阿金銀株に注がれ、特に一月中の同社収益増加發表後は熱狂状態を現出した。その他の諸株は稍や區々を呈したが、しかし優等證券類は最近イングリッド銀行が更に多額の金を購入したとの報を入れて新規の投資買ひが現はれた一方インド公債はインド議會における總督の演説が好感を受けて好勢であつたが、ドイツ公債は最近の政局推移により軟化した。その他の外國證券類は無材料であつた日本公債及び支那公債は初め主として聯盟の情勢見直しに際りしたが、しかしその後は不勢である工業株は頗る閑散で石油株は概して氣乗薄、ゴム株は不活潑であつた。

ロンドン 二月二日(金) 今週は多額の貸付が行はれたに拘らず、市況は可成り良好に推移した。

手形割引市場は稍や堅りである

イングリッド 銀行金買入

ロンドン 二月二日(木) 今週は多額の貸付が行はれたに拘らず、市況は可成り良好に推移した。

ロンドン 金融市況

ロンドン 二月二日(木) 今週は多額の貸付が行はれたに拘らず、市況は可成り良好に推移した。

金物

ニューヨーク

金物市況

△鋼鐵 製鋼會社の作業率は全能力の九割五分前週に比し二分方見直した。自動車工業からの需要は閑散となつたが、しかしその他方面からの買物は増大した。相場は鋼板安を入れて不安定であつた。△鉄鋼 小口ながら相當需要が現はれてゐる。

△銅 内外の需要は少いが産銅會社は賣焦らうとしない。これは製品需要見直しの入報があつたのとヨーロッパの銅消費が見直すべしと期待されるためである。

△錫 市況は堅い。これは國內の引渡高が可成り多量に上つてゐるのと世界錫供給高が減少すべしと豫期され、統計状態が樂觀されるに至つたためである。

△鉛 需要は可成りある。

△亜鉛 需要區々で相當の賣物が出でゐる。
△安質母尼 買氣薄。

精銅輸出高

アメリカ十二月中の
ワシントン一月廿一日(火)
アメリカ商務省発表、昨年十二月中の精銅輸出高は左の通りである。(單位千封度)

輸出總額	前年同期
一、八〇〇、〇〇〇	一、七〇〇、〇〇〇
一、七〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
一、六〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
一、五〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇
一、四〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇
一、三〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇
一、二〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇
一、一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一、〇〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇
九〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇
八〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇
七〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇
六〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
五〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇
四〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇
三〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
二〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
一〇〇、〇〇〇	〇、〇〇〇

對日鐵類輸出高

アメリカ商務省発表、昨年十二月中の對日鐵類輸出高は左の通りである。(單位千封度)

輸出總額	前年同期
一、〇〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇
九〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇
八〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇
七〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇
六〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
五〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇
四〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇
三〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
二〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
一〇〇、〇〇〇	〇、〇〇〇

金物市況

ロンドン二月三日(金)
市況は概して稍や見直した。

△銅 賣手は幾分手控へ氣味であるが、しかし持て人氣を引立てるやうな新材料もないため買手も殆ど現はれない。
△錫 相場は引締つた。これは一月末の需給統計が強制的に觀られるからである。一方買手も幾分確信を回復した形で近く有力な買支へが現はれるものと氣構へられ、ために底意は堅りを維持してゐた。△鉛 市況は前週と殆ど變らない。△亜鉛 氣配は神經過敏。

イギリス一月末

金物在庫高
ロンドン二月一日(水)
ロンドン金物取引所発表、一月末のイギリス主要港における金物在庫高は左の通りである。

品名	單位	前年
内無稅品	噸	一、九一七、二六七
有稅品	噸	四、四九三、三九七
△鉛	噸	三、三六三、二〇三
△錫	噸	一、〇五四、一六四
△銅	噸	一、九一七、二六七
△鐵	噸	一、〇五四、一六四
△鉛	噸	一、〇五四、一六四
△錫	噸	一、〇五四、一六四
△銅	噸	一、〇五四、一六四
△鐵	噸	一、〇五四、一六四

ヨーロッパ鐵鋼界近況

ロンドン一月三十日(月) たいと。
△イギリス 大口注文としてはほんのほつほつに過ぎないが市場に對する確信はよく維持されてゐる。鐵鋼は大陸筋からの輸入が殆ど絶したため内地需要は久振りに大量に上つてゐる。鋼鐵には造船機械工業等よりの注文が殆どなかつたが、しかし輸出商内は著しく増大し、遠い先物までの約定が成立し

イギリス一月末

金物在庫高
ロンドン二月一日(水)
ロンドン金物取引所発表、一月末のイギリス主要港における金物在庫高は左の通りである。

品名	單位	前年
内無稅品	噸	一、九一七、二六七
有稅品	噸	四、四九三、三九七
△鉛	噸	三、三六三、二〇三
△錫	噸	一、〇五四、一六四
△銅	噸	一、九一七、二六七
△鐵	噸	一、〇五四、一六四
△鉛	噸	一、〇五四、一六四
△錫	噸	一、〇五四、一六四
△銅	噸	一、〇五四、一六四
△鐵	噸	一、〇五四、一六四

イギリス一月末

金物在庫高
ロンドン二月一日(水)
ロンドン金物取引所発表、一月末のイギリス主要港における金物在庫高は左の通りである。

品名	單位	前年
内無稅品	噸	一、九一七、二六七
有稅品	噸	四、四九三、三九七
△鉛	噸	三、三六三、二〇三
△錫	噸	一、〇五四、一六四
△銅	噸	一、九一七、二六七
△鐵	噸	一、〇五四、一六四
△鉛	噸	一、〇五四、一六四
△錫	噸	一、〇五四、一六四
△銅	噸	一、〇五四、一六四
△鐵	噸	一、〇五四、一六四

イギリス一月末

金物在庫高
ロンドン二月一日(水)
ロンドン金物取引所発表、一月末のイギリス主要港における金物在庫高は左の通りである。

品名	單位	前年
内無稅品	噸	一、九一七、二六七
有稅品	噸	四、四九三、三九七
△鉛	噸	三、三六三、二〇三
△錫	噸	一、〇五四、一六四
△銅	噸	一、九一七、二六七
△鐵	噸	一、〇五四、一六四
△鉛	噸	一、〇五四、一六四
△錫	噸	一、〇五四、一六四
△銅	噸	一、〇五四、一六四
△鐵	噸	一、〇五四、一六四

綿糸布

マンチエスター

綿糸布市況

マンチエスター二月一日(水)
今週のマンチエスター綿糸布市況は綿布、綿糸とも引合ひは多少増加を示しつゝあるが、原棉値下りのため商内は依然歩々しくない。

過去十九年二月初棉花相場比較

年	現物	紐育	李浦	孟買	大坂	米日
一九一五年	八・五	五・七	九・〇	九・〇	九・〇	九・〇
一九一六年	一〇・〇	七・六	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇
一九一七年	一五・五	一〇・五	一五・五	一五・五	一五・五	一五・五
一九一八年	二〇・〇	一五・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇	二〇・〇
一九一九年	二五・〇	二〇・〇	二五・〇	二五・〇	二五・〇	二五・〇
一九二〇年	三〇・〇	二五・〇	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇	三〇・〇
一九二一年	三五・〇	三〇・〇	三五・〇	三五・〇	三五・〇	三五・〇
一九二二年	四〇・〇	三五・〇	四〇・〇	四〇・〇	四〇・〇	四〇・〇
一九二三年	四五・〇	四〇・〇	四五・〇	四五・〇	四五・〇	四五・〇
一九二四年	五〇・〇	四五・〇	五〇・〇	五〇・〇	五〇・〇	五〇・〇
一九二五年	五五・〇	五〇・〇	五五・〇	五五・〇	五五・〇	五五・〇
一九二六年	六〇・〇	五五・〇	六〇・〇	六〇・〇	六〇・〇	六〇・〇
一九二七年	六五・〇	六〇・〇	六五・〇	六五・〇	六五・〇	六五・〇
一九二八年	七〇・〇	六五・〇	七〇・〇	七〇・〇	七〇・〇	七〇・〇
一九二九年	七五・〇	七〇・〇	七五・〇	七五・〇	七五・〇	七五・〇
一九三〇年	八〇・〇	七五・〇	八〇・〇	八〇・〇	八〇・〇	八〇・〇
一九三一年	八五・〇	八〇・〇	八五・〇	八五・〇	八五・〇	八五・〇
一九三二年	九〇・〇	八五・〇	九〇・〇	九〇・〇	九〇・〇	九〇・〇
一九三三年	九五・〇	九〇・〇	九五・〇	九五・〇	九五・〇	九五・〇

錫需給統計

一月中の世界
ロンドン二月一日(水)
ブルーム・ビレット (マルク)
ブルーム・ビレット (マルク)
ブルーム・ビレット (マルク)
ブルーム・ビレット (マルク)
ブルーム・ビレット (マルク)
ブルーム・ビレット (マルク)
ブルーム・ビレット (マルク)
ブルーム・ビレット (マルク)
ブルーム・ビレット (マルク)

國際亞鉛

ロンドン二月三日(金)
非公式報道によると國際亞鉛カルテルは今や全く解散の状態にあるが、しかし既に新カルテル組織の交渉が開かれてゐるといふ。△備考 今解散された亞鉛カルテルは昨年七月再組織されたものであるが加入國はアメリカを除く左の十二ヶ國で世界總産額の九割以上を占めてゐた。ベルギー、フランス、ドイツ、ポーランド、イギリス、ノール、ウエー、チエッコ、イタリア、スペイン、瀋洲、メキシコ、カナダ。

カルテル解散

ロンドン二月三日(金)
非公式報道によると國際亞鉛カルテルは今や全く解散の状態にあるが、しかし既に新カルテル組織の交渉が開かれてゐるといふ。△備考 今解散された亞鉛カルテルは昨年七月再組織されたものであるが加入國はアメリカを除く左の十二ヶ國で世界總産額の九割以上を占めてゐた。ベルギー、フランス、ドイツ、ポーランド、イギリス、ノール、ウエー、チエッコ、イタリア、スペイン、瀋洲、メキシコ、カナダ。

リヴァプール

棉花市況

リヴァプール二月四日(土)
現物は少量の需要あらはれ、取引も亦相當の量に上つた。定期市場は今年度の米棉種付反別が増大の懸念あること及び獨佛政變を移して大陸筋、ボンベイ筋から終始大量の手仕舞賣りが出でゐた。一方買氣皆無の姿で相場は軟調を呈した。

ボンベイ

棉花市況

ボンベイ二月四日(土)
相場は終始軟調であつた。これは左の原因によること。
一、買賣りが出たこと。
一、プローチ出廻り最盛期の接近と外國市場軟調を眺めて地場思惑筋が可成り大量の長期物を手仕舞つたこと。
尤も相場は底値に近づくと幾分下げ滯つてゐた。

米棉消費高

ニューヨーク一月三十日(月)
ニューヨーク棉花取引所の調査によると昨年十二月中の世界米棉消費高は百二十萬八千俵で一昨年十二月より十萬七千俵の増加を示してゐる。(單位千俵)

米棉消費高

ニューヨーク一月三十日(月)
ニューヨーク棉花取引所の調査によると昨年十二月中の世界米棉消費高は百二十萬八千俵で一昨年十二月より十萬七千俵の増加を示してゐる。(單位千俵)

米棉消費高

ニューヨーク一月三十日(月)
ニューヨーク棉花取引所の調査によると昨年十二月中の世界米棉消費高は百二十萬八千俵で一昨年十二月より十萬七千俵の増加を示してゐる。(單位千俵)

米棉消費高

ニューヨーク一月三十日(月)
ニューヨーク棉花取引所の調査によると昨年十二月中の世界米棉消費高は百二十萬八千俵で一昨年十二月より十萬七千俵の増加を示してゐる。(單位千俵)

米棉消費高

ニューヨーク一月三十日(月)
ニューヨーク棉花取引所の調査によると昨年十二月中の世界米棉消費高は百二十萬八千俵で一昨年十二月より十萬七千俵の増加を示してゐる。(單位千俵)

棉花

ニューヨーク

棉花市況

△鋼鐵 製鋼會社の作業率は全能力の九割五分前週に比し二分方見直した。自動車工業からの需要は閑散となつたが、しかしその他方面からの買物は増大した。相場は鋼板安を入れて不安定であつた。△鉄鋼 小口ながら相當需要が現はれてゐる。

△銅 内外の需要は少いが産銅會社は賣焦らうとしない。これは製品需要見直しの入報があつたのとヨーロッパの銅消費が見直すべしと期待されるためである。

△錫 市況は堅い。これは國內の引渡高が可成り多量に上つてゐるのと世界錫供給高が減少すべしと豫期され、統計状態が樂觀されるに至つたためである。

△鉛 需要は可成りある。

△亜鉛 需要區々で相當の賣物が出でゐる。
△安質母尼 買氣薄。

アメリカ十二月中の
ワシントン一月廿一日(火)
アメリカ商務省発表、昨年十二月中の精銅輸出高は左の通りである。(單位千封度)

アメリカ十二月中の
ワシントン一月廿一日(火)
アメリカ商務省発表、昨年十二月中の對日鐵類輸出高は左の通りである。(單位千封度)

ロンドン二月三日(金)
市況は概して稍や見直した。

ロンドン二月三日(金)
市況は概して稍や見直した。

今週のニューヨーク棉花相場は初めまばらの賣物及び手仕舞物に押されて下落した。その後南部筋の賣物はあまり増加せず、又市場も可成りの消化力をしめしたが、しかし買手は値が上ると買添はうとしない。賣物は主として買ひ方の嫌氣手仕舞ひであるが、これは左の原因による。

一、インフレ政策は今期議會中に成立の見込みが薄くなつたこと
一、農村救済法案、戰債問題の成行き、ドイツの政情等が依然不安の状態にあること。
而して賣り方の中には大陸筋、ボンベイを含む極東筋もあつたが支那筋は安値には南部で現物を買ったと傳へられた。

春の植付の準備は遅れてゐるが棉作地の土壌は良好な状態にある。しかししもつと寒冷な氣候が續かない限りポール・ウィーデルの出現数は大なるべしとみられてゐる。一部賣業者間には本年度の植付面積は三分乃至一割方増加するもの

とみる向もある。なほ農務省は棉作者への資金貸付の擔保として六十一萬九千俵を手持ちしてゐると報せられてゐる。

に下足を辿り二日のごときはリヴァプールにおける米棉ミドリング現物相場は四ペンス九三と昨年八月八日以来の安値に陥落した。この原棉の落潮はランカシアの紡績織布業にも少なからざる悪影響を與へてゐる。即ち買手はいづれも先安を氣づかして買控の態度をとつた。又地場紡績筋の状態も前週と變らず依然買控へてゐる。

マンチエスター二月一日(水)
今週のマンチエスター綿糸布市況は綿布、綿糸とも引合ひは多少増加を示しつゝあるが、原棉値下りのため商内は依然歩々しくない。

マンチエスター二月四日(土)
相場は終始軟調であつた。これは左の原因によること。
一、買賣りが出たこと。
一、プローチ出廻り最盛期の接近と外國市場軟調を眺めて地場思惑筋が可成り大量の長期物を手仕舞つたこと。
尤も相場は底値に近づくと幾分下げ滯つてゐた。

マンチエスター二月四日(土)
相場は終始軟調であつた。これは左の原因によること。
一、買賣りが出たこと。
一、プローチ出廻り最盛期の接近と外國市場軟調を眺めて地場思惑筋が可成り大量の長期物を手仕舞つたこと。
尤も相場は底値に近づくと幾分下げ滯つてゐた。

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

棉花

ニューヨーク

棉花市況

△鋼鐵 製鋼會社の作業率は全能力の九割五分前週に比し二分方見直した。自動車工業からの需要は閑散となつたが、しかしその他方面からの買物は増大した。相場は鋼板安を入れて不安定であつた。△鉄鋼 小口ながら相當需要が現はれてゐる。

△銅 内外の需要は少いが産銅會社は賣焦らうとしない。これは製品需要見直しの入報があつたのとヨーロッパの銅消費が見直すべしと期待されるためである。

△錫 市況は堅い。これは國內の引渡高が可成り多量に上つてゐるのと世界錫供給高が減少すべしと豫期され、統計状態が樂觀されるに至つたためである。

△鉛 需要は可成りある。

△亜鉛 需要區々で相當の賣物が出でゐる。
△安質母尼 買氣薄。

アメリカ十二月中の
ワシントン一月廿一日(火)
アメリカ商務省発表、昨年十二月中の精銅輸出高は左の通りである。(單位千封度)

アメリカ十二月中の
ワシントン一月廿一日(火)
アメリカ商務省発表、昨年十二月中の對日鐵類輸出高は左の通りである。(單位千封度)

ロンドン二月三日(金)
市況は概して稍や見直した。

今週のニューヨーク棉花相場は初めまばらの賣物及び手仕舞物に押されて下落した。その後南部筋の賣物はあまり増加せず、又市場も可成りの消化力をしめしたが、しかし買手は値が上ると買添はうとしない。賣物は主として買ひ方の嫌氣手仕舞ひであるが、これは左の原因による。

一、インフレ政策は今期議會中に成立の見込みが薄くなつたこと
一、農村救済法案、戰債問題の成行き、ドイツの政情等が依然不安の状態にあること。
而して賣り方の中には大陸筋、ボンベイを含む極東筋もあつたが支那筋は安値には南部で現物を買ったと傳へられた。

春の植付の準備は遅れてゐるが棉作地の土壌は良好な状態にある。しかししもつと寒冷な氣候が續かない限りポール・ウィーデルの出現数は大なるべしとみられてゐる。一部賣業者間には本年度の植付面積は三分乃至一割方増加するもの

とみる向もある。なほ農務省は棉作者への資金貸付の擔保として六十一萬九千俵を手持ちしてゐると報せられてゐる。

に下足を辿り二日のごときはリヴァプールにおける米棉ミドリング現物相場は四ペンス九三と昨年八月八日以来の安値に陥落した。この原棉の落潮はランカシアの紡績織布業にも少なからざる悪影響を與へてゐる。即ち買手はいづれも先安を氣づかして買控の態度をとつた。又地場紡績筋の状態も前週と變らず依然買控へてゐる。

マンチエスター二月一日(水)
今週のマンチエスター綿糸布市況は綿布、綿糸とも引合ひは多少増加を示しつゝあるが、原棉値下りのため商内は依然歩々しくない。

マンチエスター二月四日(土)
相場は終始軟調であつた。これは左の原因によること。
一、買賣りが出たこと。
一、プローチ出廻り最盛期の接近と外國市場軟調を眺めて地場思惑筋が可成り大量の長期物を手仕舞つたこと。
尤も相場は底値に近づくと幾分下げ滯つてゐた。

マンチエスター二月四日(土)
相場は終始軟調であつた。これは左の原因によること。
一、買賣りが出たこと。
一、プローチ出廻り最盛期の接近と外國市場軟調を眺めて地場思惑筋が可成り大量の長期物を手仕舞つたこと。
尤も相場は底値に近づくと幾分下げ滯つてゐた。

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

マンチエスター二月三日(金)
本年初め以来米棉相場は連續的

本邦對外資産勘定

外貨所有高意外に多し

大藏省調査によれば資本逃避防止法により届出でた外貨及び外貨証券の所有高は昭和七年七月一日現在において左のごとくである。

△本邦外貨証券所有高 (單位千圓)

所在地	内	外
國債	六、七〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇
地方債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
社債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
合計	八、七〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇

△外國証券所有高 (單位千圓)

所在地	内	外
國債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
地方債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
社債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
合計	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇

△外貨預金及貸付金在高 (單位千圓)

所在地	内	外
預金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
貸付金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
合計	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇

右の外海外における法規上株式投資のごとき名義上當該國の所有に歸してゐるものを合算すると本邦人所有の外貨總額は二十億圓に見當る模様である。一方我が國の負債となるべき外貨債等を二十億圓とみるとは我が國の對外資産勘定はとんととみられ

元年度以降 歳出入額比較

大藏省發表によれば大正十五年元年度以降の歳出入比較は左のごとくである。

元年度	歳入	歳出	差引
大正十五年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
昭和元年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
二年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
三年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
四年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇

全國卸賣物價

商工省發表、昨年十二月中の全國十三都市における卸賣物價指數は左のごとくである。

時期	前月	去年同期
十二月	九六・八	九二・〇
十一月	九六・八	九二・〇
十月	九六・八	九二・〇
九月	九六・八	九二・〇
八月	九六・八	九二・〇
七月	九六・八	九二・〇
六月	九六・八	九二・〇
五月	九六・八	九二・〇
四月	九六・八	九二・〇
三月	九六・八	九二・〇
二月	九六・八	九二・〇
一月	九六・八	九二・〇

昨年の貿易額

大藏省發表、昭和七年本邦(内地)月別貿易額の對米爲替相場換算額は左のごとくである。

月	輸出	輸入
一月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
七月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
八月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
九月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
十月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
十一月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
十二月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計	一、〇〇〇	一、〇〇〇

時局株漁り

その他の諸株も同様の往來を繰返すのみであつたが、依然として鐵鋼株、船舶株その他軍需品關係のものが時局株として買慕はれてゐた。

現在の人氣は相變らず聯盟問題を中心として氣迷ひの域を脱し得ないものがある。しかし吾人は聯盟問題の成行きもさることながら我が國のインフレ政策がどの程度に現實化し來るか、こゝに觀點を忘れてはならぬと思ふ。

爲替引締り

爲替が幾分引締つてゐたことも軟材料の一と算へ得るが、要するにはつきりした材料もなく

△決算額

元年度	歳入	歳出	差引
大正十五年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
昭和元年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
二年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
三年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
四年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
五年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇
六年	一、三三三、二〇〇	一、三三三、二〇〇	〇

△輸出額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△輸入額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△輸出額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△輸入額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△輸出額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△輸入額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△輸出額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△輸入額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△對米爲替換算

元年度	對米爲替換算
大正十五年	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇

△輸出額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

△輸入額

元年度	輸出	輸入
大正十五年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭和元年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三年	一、〇〇〇	一、〇〇〇

東京株式長期清算取引相場

後單位・大引銭

日	【第一部】	郵船		同新			商船		東京電燈		富士紡		同新			鐘紡			
		當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先		
1月30日(月)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
31日(火)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2月1日(水)		501	505	161	165	164	364	368	-	164	167	632	636	-	317	2280	2285	2295	
2日(木)		-	516	522	172	178	-	-	-	163	165	643	640	311	318	320	2275	2286	
3日(金)		513	-	512	173	176	-	-	380	164	166	640	644	648	320	321	323	2309	2313
4日(土)		513	-	-	174	175	180	383	384	164	166	641	647	324	323	329	2284	2317	2318

日	鐘紡新	日清紡	同新			東洋紡		同新		片倉製絲			大日本麥酒							
			當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先						
1月30日(月)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
31日(火)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2月1日(水)	-	1120	1070	1079	537	544	548	1598	1615	-	805	811	303	306	282	1085	1096	1100		
2日(木)	-	1117	1121	1079	1081	532	539	540	-	1584	1589	797	796	806	294	296	271	1095	1100	1110
3日(金)	1120	1133	1139	-	1088	535	540	545	-	1609	1606	804	804	805	289	294	273	1099	1106	1106
4日(土)	1113	1130	1133	-	1091	543	546	-	1590	-	-	-	-	-	287	291	274	1095	1105	1105

日	大日麥酒新	麥酒鑛泉		同新			日魯漁業			同新		大日製糖		同新						
		當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先					
1月30日(月)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
31日(火)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
2月1日(水)	437	443	550	-	253	258	740	746	758	291	296	301	833	835	515	516				
2日(木)	-	435	439	553	557	252	255	259	739	746	755	287	293	296	832	838	502	508		
3日(金)	430	444	556	566	576	264	266	271	742	754	751	-	292	296	831	834	836	506	511	510
4日(土)	435	448	555	557	568	263	264	271	734	742	750	287	294	296	832	835	-	510	513	

日	臺灣製糖	同新		新高製糖			帝國製糖			同新		明治製糖		同新										
		當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先									
1月30日(月)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
31日(火)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
2月1日(水)	1143	1151	1120	578	584	579	630	638	641	203	215	655	658	659	420	429	1014	999	543	647	638			
2日(木)	1131	1138	1105	561	567	556	-	627	-	205	206	209	610	618	624	398	402	405	1002	1015	992	528	637	628
3日(金)	1128	1129	1107	560	561	558	-	634	-	207	209	213	621	628	630	408	410	415	1004	1007	991	525	632	626
4日(土)	-	1127	1095	555	560	550	625	633	-	202	206	207	-	-	635	-	423	993	986	970	520	627	623	

日	沖繩製糖	大連信新		橫濱取引		東京米商			同新		大株新		大連株商		東京株式								
		當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先						
1月30日(月)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
31日(火)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
2月1日(水)	-	215	216	256	258	261	380	386	890	899	892	593	602	610	1085	1100	1112	-	270	1808	1821	1840	
2日(木)	210	217	219	272	274	275	371	381	893	-	904	612	622	622	-	1114	1134	-	287	288	1835	1854	1880
3日(金)	219	220	221	270	-	274	-	383	385	-	895	900	-	603	611	-	1118	285	-	290	1827	-	1857
4日(土)	219	220	220	-	-	270	375	-	890	-	900	-	600	610	1088	-	1114	300	300	309	1828	1849	1859

日	東株新	【第一部】	國際通運		橫濱船渠		石川島造船		北海炭礦		同新		磐城炭礦		入山採炭		三菱鑛業		同新		東京製鋼		日本鋼管		同優先		東洋製鐵		戶畑鐵物		人造肥料		蜜素肥料		電氣化學		帝國火藥		熱帶產業		品川白煉		日本セメ			
			當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先				
1月30日(月)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
31日(火)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2月1日(水)	1880	1895	1907	501	-	245	491	-	-	-	840	330	-	891	468	193	653	448	-	530	97	-	249	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2日(木)	1907	1925	1937	499	-	263	493	172	-	-	820	315	-	925	508	196	670	441	768	536	100	231	259	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3日(金)	1881	1895	1905	-	-	295	516	180	309	-	832	321	-	942	493	209	672	451	769	538	101	236	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
4日(土)	1887	1907	1925	503	-	322	512	187	309	-	830	326	488	948	498	220	672	451	765	543	99	-	264	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

日	淺野セメ	同新	磐城セメ	日本産業	同新	日本石油	同新	【第三部】	南滿鐵道		乘合自動		興銀		東拓		秋田木材		東京瓦斯		鬼怒川電		東信電氣		北海道電		東邦電力		大同電力		同新		日本電力		同新		白活		松竹キネ	
									當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先	當	中先
1月30日(月)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31日(火)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2月1日(水)	668	360	642	988	494	561	250	640	487	327	429	308	720	-	356	658	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2日(木)	670	362	644	986	497	568	255	642	493	328	427	306	702	613	-	-	-	338	233	40	-	280	-	342	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3日(金)	675	367	-	951	476	581	264	640	493	320	432	293	699	615	-	-	-	-	-	-	-	349	-	267	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4日(土)	680	376	645	960	480	592	265	647	492	327	432	296	698	-	-	-	595	340	-	-	344	-	268	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

日	王子製紙	同新	帝國製麻	同新	大日本水	三越	同新	日清製粉	同新	出來高	新東株				鐘紡			
											前	後	引	高	前	後	引	高
1月30日(月)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1881	1864	1884	1850	2301	2269	2305	2250
31日(火)	休	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1840	1875	1882	1839	2250	2270	2280	2235
2月1日(水)	1062	575	342	113	259	-	250	841	-	189,020	1886	1864	1886	1858	2275	2265	2280	2260
2日(木)	1050	580	346	-	259	-												

證 券 相 場	ニ ユ ー ヨ ー ク	スチール株 (百円)										長期先限後場引値 (額面百圓建)												
		寄付				高値				安値				大引				甲	第	一	二	二	二	佛
		五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	
1月30日(月)	27%	28%	27%	27%	7%	13%	4%	13%	28.69	60.77	50	98.75	97.80	—	—	99.90	—	—	—	—	—	149.90		
31日(火)	28	28%	27%	28%	7%	13%	4%	13%	28.92	60.90	75	98.70	97.60	87.55	87.15	—	—	—	—	—	—	148.60		
2月 1日(水)	27	27%	26%	26%	7%	13%	4%	13%	28.39	59.08	125	98.70	97.60	87.05	87.05	—	—	—	—	—	—	148.70		
2日(木)	26%	27	26%	26%	7%	12%	4%	13%	27.67	58.03	125	98.70	97.65	87.10	87.05	99.90	—	—	—	—	—	148.90		
3日(金)	26%	27	26%	26%	7%	12%	4%	13	28.16	58.11	100	98.75	97.75	87.40	—	—	—	—	—	—	—	149.50		
4日(土)	26%	26%	26%	26%	6%	12%	4%	12%	27.84	57.55	50	98.75	—	87.50	87.45	—	—	—	—	—	—	—	149.4	

日 本 公 社 債 (百円)	東京市電燈										東京市電氣										東京市電氣									
	日 本		同		東京市		横 濱 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市					
	六分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分	五分				
1月30日(月)	58	47%	42%	49%	41	43%	38	42	35	—	50	—	—	40	—	—	40	—	—	—	—	—	—	—	—					
31日(火)	58	48	44	49%	—	—	38%	42	35	—	49%	40%	34%	40	—	—	39%	40	—	—	—	—	—	—	—					
2月 1日(水)	58	47%	43%	48	41	43%	39	—	34%	51%	49%	40	33%	39%	—	—	39%	40%	—	—	—	—	—	—	—					
2日(木)	58	47%	43	47%	38%	42%	38%	41%	35	—	49%	41%	33%	40%	—	—	40%	—	—	—	—	—	—	—	—					
3日(金)	58	47%	43	48%	38	42%	38%	40%	34%	52	49%	40	33	40	—	—	40%	—	—	—	—	—	—	—	—					
4日(土)	59	47	43%	49	—	41%	39%	40%	34	51%	49%	40%	33	40%	—	—	40%	—	—	—	—	—	—	—	—					

日 本 公 社 債 (百円)	東京市電燈										東京市電氣										東京市電氣									
	日 本		同		東京市		横 濱 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市		東 京 市					
	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分	四分					
1月30日(月)	52%	52	63%	71%	78%	80	54	61%	62%	80%	60%	64	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
31日(火)	51%	51%	62%	71	78%	80	54	61	62%	80%	60%	64	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
2月 1日(水)	50%	51	62	70	78	80	54	60%	62%	80	60	64%	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
2日(木)	51%	50%	62	69%	77%	80	53%	60%	62%	80	60	64%	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
3日(金)	51	50%	62	69%	77%	80	53%	60%	62%	80%	60	64%	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
4日(土)	51	50%	62	70	77%	80	53%	60%	62%	81%	60	64%	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					

金 場	ニ ユ ー ヨ ー ク	一流銀行引受手形割引率				三ヶ月 割引率	東京市中金利				手形割引率			
		30日	60日	90日	空日		無条件	普通物	商 業	紡 績	商 業	紡 績	擔保附	
		歩	歩	歩	銭		銭	銭	銭	銭	銭	銭	銭	
1月30日(月)	1	0%	0%	0%	0%	0.90-0.90	0.90-0.90	0.90-0.95	1.05-1.20	1.10-1.70	1.40-1.80			
31日(火)	1	0%	0%	0%	0%	0.90-0.90	0.90-0.90	0.90-0.95	1.05-1.20	1.10-1.70	1.40-1.80			
2月 1日(水)	1	0%	0%	0%	0%	0.90-0.90	0.85-0.90	0.85-0.90	1.05-1.20	1.10-1.70	1.40-1.80			
2日(木)	1	0%	0%	0%	0%	0.85-0.90	0.85-0.90	0.85-0.90	1.05-1.20	1.10-1.70	1.40-1.80			
3日(金)	1	0%	0%	0%	0%	0.85-0.90	0.85-0.90	0.85-0.90	1.05-1.20	1.10-1.70	1.40-1.80			
4日(土)	休	—	—	—	0%	0.85-0.90	0.85-0.90	0.85-0.90	1.05-1.20	1.10-1.70	1.40-1.80			

利 場	大 阪 市 中 金 利	コ ー ル 歩 合				手 形 割 引 率				金 銀 塊 相 場			
		空日	無条件	月越物	六十日物	商 業	紡 績	現 物	先 物	現 物	先 物	現 物	先 物
		銭	銭	銭	銭	銭	銭	銭	銭	銭	銭	銭	銭
1月30日(月)	0.90-0.90	0.90-0.95	0.90-1.20	0.80-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	17%	17%	26%	26%	26%	26%	786.0
31日(火)	0.90-0.90	0.90-0.95	0.90-1.20	0.80-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	17%	17%	25%	26%	26%	26%	782.7
2月 1日(水)	0.90-0.90	0.90-0.95	0.85-1.20	0.80-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	17	17%	25%	26%	25%	26	782.4
2日(木)	0.80-0.90	0.80-0.90	0.80-1.20	0.80-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	16%	16%	25%	25%	25%	26	789.6
3日(金)	0.80-0.90	0.80-0.90	0.80-1.20	0.80-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	16%	16%	25%	25%	25%	26	791.7
4日(土)	0.80-0.90	0.80-0.90	0.80-1.20	0.80-1.20	1.20-1.70	0.80-1.20	16%	17	25%	26	26	26	788.3

外 國 為 替 相 場	ニ ユ ー ヨ ー ク	電 信 爲 替 銀 行 賣										電 信 爲 替 銀 行 買									
		ロンドン	日 本	上 海	フ ラ ン ス	オ ラ ン ダ	ド イ ツ	イ タ リ ー	ス イ ス	ア ジ ア	カ ナ ダ	ロンドン	日 本	上 海	フ ラ ン ス	オ ラ ン ダ	ド イ ツ	イ タ リ ー	ス イ ス	ア ジ ア	カ ナ ダ
		(一磅)	(百圓)	(百兩)	(一法)	(一盾)	(一マルク)	(一リラ)	(一法)	(一先令)	(一先令)	(一磅)	(百圓)	(百兩)	(一法)	(一盾)	(一マルク)	(一リラ)	(一法)	(一先令)	(一先令)
1月30日(月)	3.39%	21.18	28%	3.90%	40.20%	23.73%	5.11%	19.35	7.50	14%	1.61%	82%	390	2.32%	39%	187	—	—	—	—	
31日(火)	3.39%	21.18	28%	3.90%	40.18%	23.77	5.11%	19.33%	7.50	15%	1.6%	82%	389%	2.32%	39%	186%	—	—	—	—	
2月 1日(水)	3.38%	21.12	28%	3.90%	40.20%	23.76%	5.11%	19.34	7.50	16%	1.6%	82%	389%	2.32%	39%	186%	—	—	—	—	
2日(木)	3.39%	21.12	28%	3.90%	40.20%	23.77	5.11%	19.34	7.50	15%	1.6%	82%	390%	2.32%	39%	186%	—	—	—	—	
3日(金)	3.39%	21.12	28%	3.90%	40.19%	23.78	5.11%	19.30%	7.50	15%	1.6%	82%	389	2.32%	39%	186	—	—	—	—	
4日(土)	3.40	21.12	28%	3.90%	40.20%	23.78	5.11%	19.30%	7.50	15%	1.6%	82%	389	2.32%	39%	186%	—	—	—	—	

外 國 為 替 相 場	ロンドン	電 信 爲 替 銀 行 賣 (△印名目)										電 信 爲 替 銀 行 買 (△印名目)									
		上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本				
		(一兩)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)			
1月30日(月)	3.39%	1.8%	1.6%	1.3%	1.3	1.2%	86.96	14.28	8.44	24.40	41.46	66.46	17.54	25							
31日(火)	3.39%	1.8%	1.6%	1.3%	1.3	1.2%	86.97	14.28	8.45	24.41	41.46	66.46	17.55	25							
2月 1日(水)	3.39	1.8%	1.6%	1.3%	1.3	1.2%	86.91	14.25	8.43	24.37	41.40	66.34	17.55	25							
2日(木)	3.39%	1.8%	1.6%	1.3%	1.3	1.2%	86.96	14.29	8.45	24.40	41.40	66.43	17.57	25							
3日(金)	3.39%	1.8%	1.6%	1.3%	1.3	1.2%	87.01	14.29	8.45	24.43	41.43	66.40	17.61	25							
4日(土)	3.40	1.8%	1.6%	1.3%	1.3	1.2%	87.04	14.30	8.46	24.42	41.46	66.46	17.61	25							

外 國 為 替 相 場	ロンドン	電 信 爲 替 銀 行 賣										電 信 爲 替 銀 行 買									
		上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本	上 海	日 本				
		(一兩)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)	(一圓)			
1月30日(月)	1.8%	74%	74	28%	1.3%	77%	△ 103%	22%	8.46%	249%	52%	—	—								
31日(火)	1.8%	74%	73%	28%	1.3%	77%	△ 103%	22%	8.47%	249%	53%	—	—								
2月 1日(水)	1.8%	74%	73%	28%	1.3%	77%	△ 103%	22%	8.47%	249%	53%	—	—								
2日(木)	1.8%	74%	73%	28%	1.3%	77%	△ 104	22%	8.45	249%	52%	—	—								
3日(金)	1.8	74%	74	28%	1.3%	77%	△ 103%	22	8.47%	249%	52%	—	—								
4日(土)	1.8%	74%	73%	28%	1.3%	77%	△ 103%	22%	8.47%	249	52%	—	—								

為 替 内 地 相 場	對 米 爲 替	電 信 爲 替 銀 行 賣										電 信 爲 替 銀 行 買									
		東 京	大 阪	横 濱	神 戶	東 京	大 阪	横 濱	神												

金物相場 (Gold and Silver Market) table with columns for dates (1月30日, 31日, 2月1日, 2日, 3日, 4日) and various metal types like 標準銅, 電氣銅, 標準錫, 鉛, 亞鉛, ニューヨーク, and シンガポール.

相場 (Market) table for 1月30日 (ビツツバーク渡) and 2月4日 (土). Includes items like 鉄線第二號物用, ビレツツ, スチール・バー, and others with prices in 仙 and 圓.

棉 (Cotton) table with columns for dates (1月30日, 31日, 2月1日, 2日, 3日, 4日) and various cotton grades like ニューヨーク, アレキサンドリア, and others.

花相 (Flower Market) table with columns for dates (1月30日, 31日, 2月1日, 2日, 3日, 4日) and various flower types like ニューオリンズ, リヴァプール, ポン, ベイ, and others.

場 (Market) table with columns for dates (1月30日, 31日, 2月1日, 2日, 3日, 4日) and various market types like 大阪, 大阪綿糸, and others.

綿糸布相場 (Cotton Yarn and Cloth Market) table with columns for dates (1月30日, 31日, 2月1日, 2日, 3日, 4日) and various yarn types like 巨綿糸, ニューヨーク, 東京綿糸, and others.

生 (Raw) table with columns for dates (1月30日, 31日, 2月1日, 2日, 3日, 4日) and various raw materials like ニューヨーク, and others.

糸相 (Thread Market) table with columns for dates (1月30日, 31日, 2月1日, 2日, 3日, 4日) and various thread types like ニ市現物相場, and others.

場 (Market) table with columns for dates (1月30日, 31日, 2月1日, 2日, 3日, 4日) and various market types like 人絹相場, 東京, and others.

砂糖	ニユーヨーク	定 期 (一 封 度)							取引出来高 (単位トン)	和糖(甘蔗糖 96% c. i. f.) 買手値(ロンドン又はリヴァプール)			轉賣市場最高買値(白双百基瓦建)				
		3月限	5月限	7月限	9月限	12月限	1月限	3月限		5月限	8月限	直 渡	1月渡	2月渡	3月渡	4月渡	
		仙	仙	仙	仙	仙	仙	志 片		志 片	志 片	肩	肩	肩	肩	肩	

相 場	東 京	分 賣 糖 保 稅 品 (百斤建)							大 阪	分 賣 糖 保 稅 品 (百斤建)							麻 袋 相 場	カ ル カ ッ タ	本船直渡(百枚建)		ヘ シ ア ン	シ ュー ト	
		2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	2月限		3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	鐵 筋	青 筋			留 比	留 比		留 比	留 比
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		圓	圓	圓	圓	圓	留 比	留 比			留 比	留 比		留 比	留 比

油 脂 相 場	ニユーヨーク	総 貨 油 (一 封 度)		現 物 關 稅 濟 (亞 麻 仁 油 及 菜 種 油 は 一 ガ ロ ン . 其 他 一 封 度 に 付)				亞 麻 仁 油 , ロ ン 登 渡		亞 麻 仁 油 , ロ ン 登 渡		ト リ ヤ 菜 種		
		3月限	5月限	2月 1日(水)				2月 1日(水)	5月 限	8月 限	11月 封 度	12月 封 度	12月 封 度	12月 封 度
		仙	仙	亞 麻 仁 油 (粗 製 , 紐 育)	大 豆 油 (粗 製 , 太 平 洋)	落 花 生 油 (東 洋 品)	椰 子 油 (セ イ ロ ン 同)	支 那 桐 油 (太 平 洋 甲 板 渡)	荳 油 (同 上)	蓖 麻 子 油 (第 三 號 標 人 紐 育 甲 板 渡)	賣 手	賣 手	賣 手	賣 手

小 麥 相 場	シ カ ゴ	一 ア ッ セ ル 建			5 月 限		取 引 出 來 高	一 ア ッ セ ル 建		一 ア ッ セ ル 建		一 ア ッ セ ル 建		
		5月限	7月限	9月限	高 值	安 值		5月限	7月限	5月限	7月限	5月限	7月限	10月限
		仙	仙	仙	仙	仙		仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙

相 場	リ ヴ ア プ ル	百 封 度 建				輸 入 稅 込		メ ル ボ ル ン (グ イ ヤ 産 品)	巨 濤 小 麥 粉	四 十 九 封 度 建		一 石 建			一 石 建		
		3月限	5月限	7月限	9月限	3月限	5月限			月 限	月 限	2月限	3月限	4月限	2月限	3月限	4月限
		片	片	片	片	片	片			兩 匁	兩 匁	圓	圓	圓	圓	圓	圓

ゴ ム 相 場	ロ ン 登	シ ャ ー ト (一 封 度)				ニ ヱ ュー ヨー ク	シ ャ ー ト △ 印 各 目		シ ャ ー ト (一 封 度)		競 賣 相 場 最 高 價	
		(現 物)		(4,5,6月渡)			現 物	4,5,6月 渡	現 物	4,5,6月 渡	2月 1日(水)	
		買 手	賣 手	買 手	賣 手		仙	仙	仙	仙	(一 封 度 に 付)	

滿 洲 特 産 物 相 場	大 連 豆 粕	十 四 日 限 , 一 枚 銀 建						現 物		月 末 限 , 百 斤 銀 建					現 物		
		現 物	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	高 值	安 值	現 物	1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	高 值	安 值
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

金 融 統 計	日 本 銀 行 帳 尻	十 四 日 限 , 百 斤 銀 建				大 連 銀 票 相 場	日 本 金 百 圓 建		2月 13日 限		定 期			大 阪 豆 粕 相 場	ハ ル ピ ン 豆 粕 相 場		
		現 物	2月限	3月限	4月限		5月限	6月限	2月 13日 限	2月 26日 限	高 值	安 值	豆 油			大 豆	豆 粕
		圓	圓	圓	圓		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓			圓	圓

金 融 統 計	日 本 銀 行 帳 尻	翌 日 へ 繰 越 (單 位 千 圓)				手 形 交 換 高 (千 圓 位)	東 京		大 阪	
		兌換券發行高	正 貨 準備	預 金	貸 出 高		交 換 高	交 換 尻	交 換 高	交 換 尻
		1,257,195	425,068	282,785	779,845		114,989	23,783	55,857	6,332

國際金融・金銀塊及重要商品週統計

昭和八年一月廿九日—二月四日號

アメリカ 通貨及金融状態 (聯邦準備銀行並に關係諸統計による。2月1日現在、單位百萬ドル)

フランス 銀行週報 (1月27日現在、單位百萬フラン)

イギリス 金塊輸出入額 (2月1日迄累計)

アメリカ 棉花統計 (ニューヨーク棉花取引所發表。2月3日迄今季累計、單位千俵)

キューバ 砂糖統計 (ウイレット・グレー商會。12月31日調再録、單位トン)

アメリカ 聯邦準備週報 (2月1日現在、單位百萬ドル)

ライヒス 銀行週報 (1月31日現在、單位百萬マルク)

インド政府 通貨週報 (1月31日現在、單位十萬ルピー)

イギリス ゴム統計 (ロンドンゴム協會發表、本年一月以降累計、單位トン)

日本銀行週報 (日本銀行 1月31日發表、單位千圓)

イングランド 銀行週報 (2月1日現在、單位千ポンド)

上海銀在荷高 (1月25日現在)

上海銀輸出入額 (1月25日迄一週間)

エジプト 棉花統計 (アレキサンドリア棉花取引所發表、2月2日迄今季累計、單位千カント)

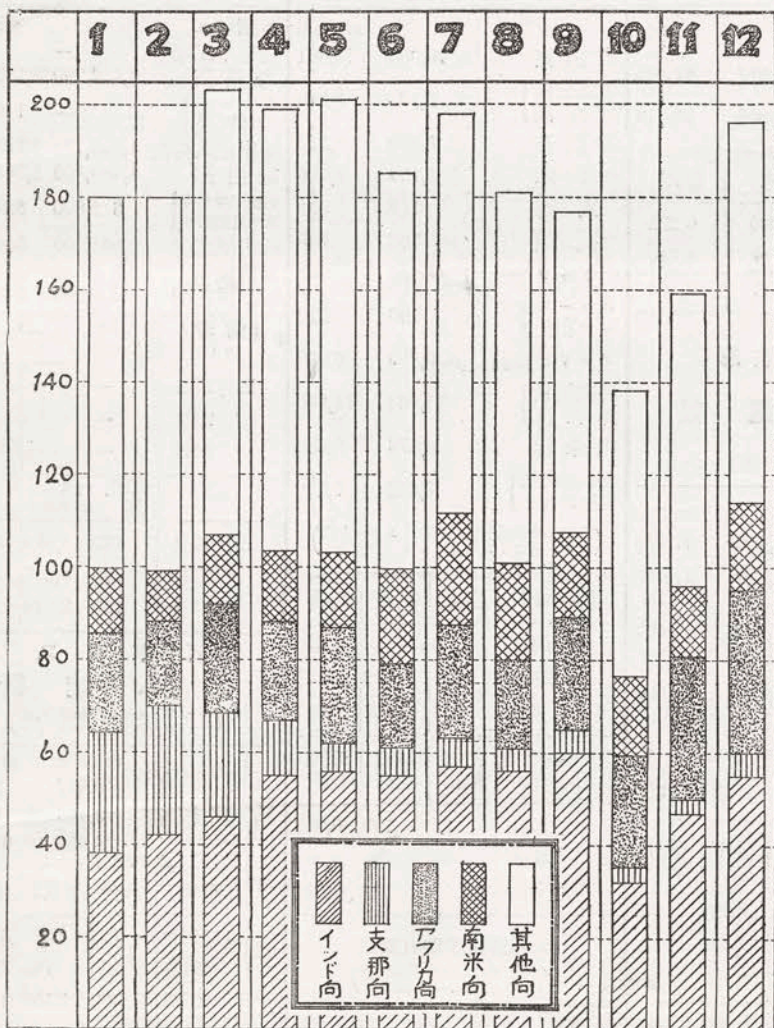
大連埠頭 特産物荷動統計 (1月21—25日・單位キロトン)

大豆 入庫高、出庫高、在庫高、引取高、在荷高、毎五日目統計

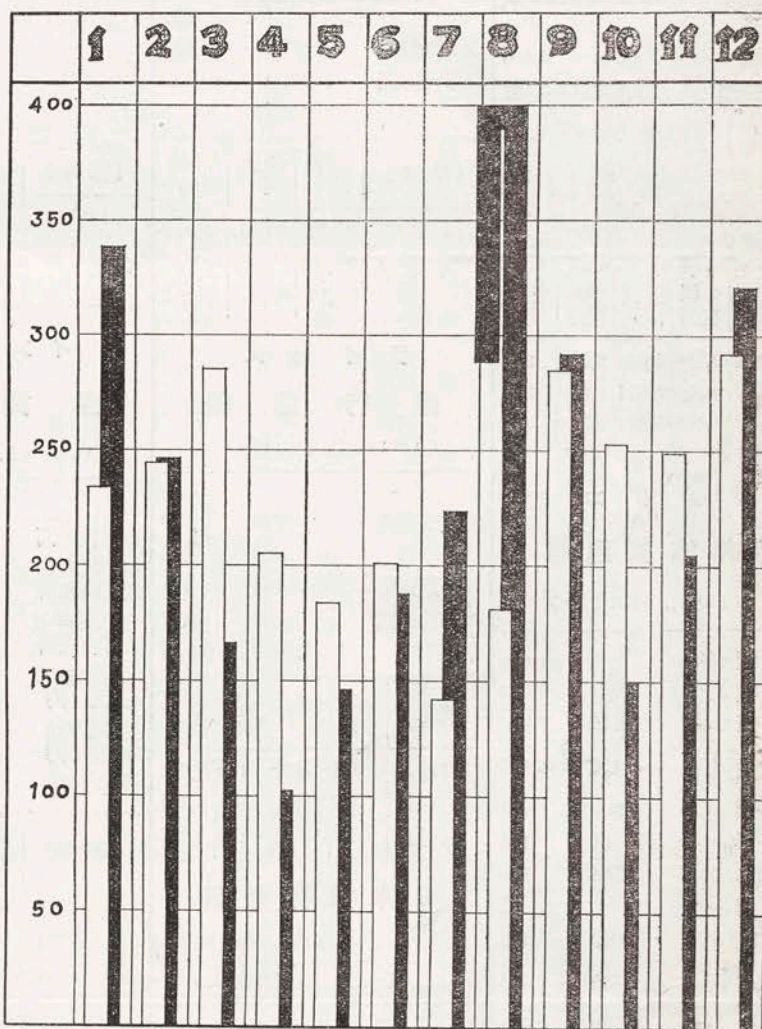
國際經濟グラフ

昭和七年中月別

イギリス綿布輸出高 (單位百萬平方ヤード)



アメリカ綿布統計 (黒線は販賣高・白線は生産高, 單位百萬平方ヤード)



○本誌定價 一ヶ月分金一圓、一ヶ年分金十圓
 廣告料金 普通面一行二角、特等面一行五角
 發行所 東京市京橋區銀座西八丁目九番地
 新聞聯合社
 電話 銀座代表(電)三二二(電)三三九
 電報 貯金口座東京三二〇三九番
 編輯發行兼印刷人 大川幸之助

發行所

金紙か

東京市京橋區銀座西八丁目九番地
 振替東京三〇三九番
 大阪市中區中之島二丁目二番
 振替大阪六八〇〇番

新聞聯合社

第五版出來

定價金五十錢
稅金二十錢



紙か

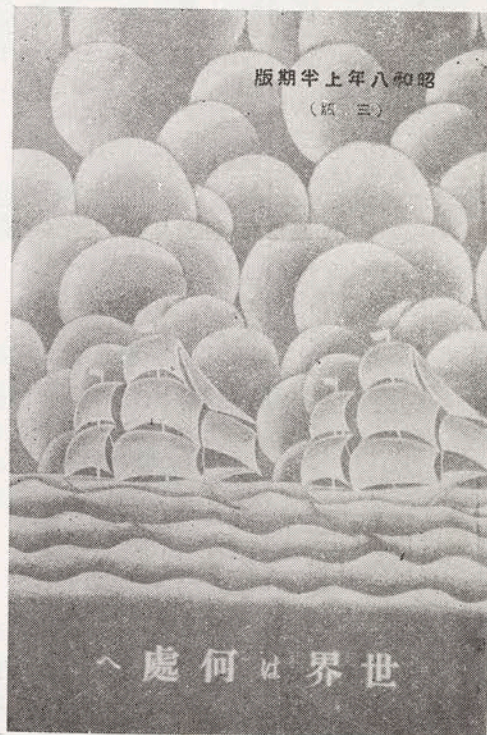
新聞聯合社

世界は何處へ

昭和八年上半年期版

第三版出來

定價金五十錢
稅金二十錢



昭和八年上半年期版 (三)

世界は何處へ